

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年10月11日時点)

➤ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者9,701人以上、負傷者1万7,748人以上 (UNOCHA9月24日)

- 「ウ」軍統合報道センター長は、「**東部リマン及びクピャンスクが困難な戦況にある**」とし、「敵〔露軍〕は、空地両目標を攻撃可能なSu-35等の**航空戦力を集中的に運用して激しい攻撃**を行っている」と指摘 (10月5日)
- 「ウ」内相は、**露軍が弾道ミサイル「イスカندر」を用いてクピャンスクを攻撃した可能性**を指摘、また同攻撃により**51人が死亡**と発表 (10月6日)
- 「ウ」軍参謀本部は、露軍3個大隊規模がドネツク州アウディウカ方面で攻撃を仕掛けてきた旨発表。米ISWは、**露軍がアウディウカ方面で局地的な攻勢作戦を実施**しており、「ウ」軍による同地から**ロボチネ方面への戦力転用阻止を企図**している可能性があると評価 (10月9日)

- 独紙は、独政府の情報筋の話として、**独政府が、ウクライナから供与要請のあった巡航ミサイル「タウルス」について、当面の間、供与しない方針**であると報道 (10月5日)
- 米CSISは、露国境に近い北朝鮮豆満江駅で貨物車両73両を衛星写真で確認したと指摘するとともに、「**北朝鮮によるロシアへの武器・弾薬供給を示している可能性が高い**」と指摘 (10月6日)



- 「ウ」国防省情報総局は、「**ウ」特殊部隊がクリミア半島に上陸**し、露軍に「**打撃を与えた**」と発表。一方、**露連邦保安庁 (FSB)**は、「ウ」特殊部隊のクリミア上陸を阻止し、同上陸作戦に関与した**作業員1名を拘束したと発表** (10月4日)
- 「ウ」メディアは、**露黒海艦隊の艦艇×14隻**が、セヴァストープリから**ノヴォロシースクに移動**した模様と報道 (10月5日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等